



聖ペトロ・聖パウロ

カトリック延岡教会

令和4年2月

ST.Peter & ST.Paul Nobeoka Catholic Church

〒882-0825 宮崎県延岡市須崎町4-3 ☎0982-32-6501◇FAX0982-20-4640◇HPwww.nobeoka-catholic.com

No44

延岡教会年間目標「福音宣教に向けて心を尽くしましょう。」

教皇フランシスコ回勅「兄弟のみなさん」を通して

〈万人のための計画の欠如〉

支配して突き進める方法は、特定の価値観の下、絶望の種を蒔き、不信感をあおることです。今日、多くの国は二極化させる政治メカニズムを用い、他者の存在する権利と意見を表明する権利を否定している。

こうして、社会は強者優勢へと後退している。勝利は破壊と同義語となる社会において、どうしたら立ち直ることが出来るのでしょうか。世界を大切にすることは、私たち自身を大切にすることです。同じ家に住む「わたしたち」にならなければなりません。

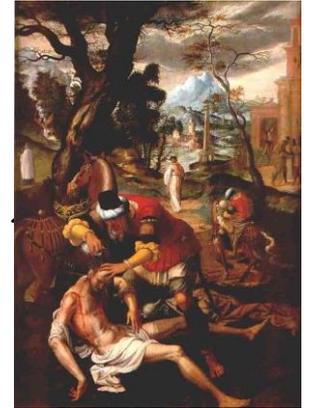
貧しい人や障害者、老人のように「役に立たない」人間の切り捨てが世界規模で起きています。こうした「切り捨て」は人種差別の形態も取ります。成長は促したものの、全人的発展には資することのない経済の法則があります。富は増えても格差が伴い、「新しい貧困の形態が出現」しているのです。今日の世界は、人を搾取し、切り捨て、殺すことさえいとわない、利益に基づいた経済モデルによって助長された不正義が持続しています。

世界中の社会組織はいまだに、男女の尊厳と権利を有することを明確に反映しているとは言えません。事実、疎外され、虐待され、暴力を受けて苦しむ女性は、二重の意味で貧しいのです。なぜなら、自分の権利を守る可能性が殆どないからです。

次のことを認識しましょう。「神の似姿とし神にかたどって造られた人間が、抑圧、

裏切、身体的心理的な拘束によって、自由を奪われ、売られ、他の人の所有物にされます」

人身売買や奴隷制は、組む世界的問題となっています。戦争、テロ行為、人種や宗教を理由とした迫害、人間の



尊厳を踏みにじる行為は、主に経済の利益に応じて判断されます。権力者にとって都合が良ければ真実となり、利するところがなければ真実ではなくなるのです。どの戦争でも、破壊されるのは「兄弟関係」で、不信を助長し、自分の世界に引きこもるよう人々を仕向けるのです。我が身を守るために新たな壁が築かれ、「わたしの」世界だけが存在するようになるのです。それは、多くの人が不可侵の尊厳を持った人間とは見なされず、ただの「それら」になるのです。

現代世界では、同じ人類に属しているという感覚が薄れ、正義と平和を共に築くという夢は、おとぎ話のように見えます。快適で冷淡でグローバル化された無関心が支配しているかを目にします。これは、深い失望から生まれるものです。

兄弟愛の優れた価値観を置き去りにするこの失望が行き着く所は、「一種の冷笑主義です。」希望を回復する方法は、「親しさ、出会いの文化です。」自分を取り巻く兄弟姉妹の必要性に気づくことが出来るなら、なんと素晴らしい事でしょう。〈3月号に続く。〉

ミサの案内

主 日	平 日
18時30分～(土曜日):延岡教会 6時20分～(日曜日) :聖心ウルスラ修道院聖堂 9時30分～(日曜日):延岡教会	6時20分～ :聖心ウルスラ修道院聖堂

◎典礼(ミサ)について

1. 2月11日(金)は、「**世界病者の日**」となります。病気で苦しむ人のため、また、病者に寄り添う医療従事者やその家族のために祈りましょう。

2. 2月27日(日)のミサは、ロペス神父様(南宮崎教会担当)がミサ司式を行ってくださいます。(南宮崎教会黙想の指導のため)

※コロナ感染状況によっては、取りやめになる場合もあります。

3. 3月2日(水)は、**灰の水曜日**となります。午後7時から、「灰の水曜日」(大齋・小齋)ミサを行います。

★枝の回収は、2月20日(日)から行います。教会入り口に設けている回収籠にお入れください。

◎聖書講座会・勉強会・求道者勉強会について

2月13日(日)の公開ミサ中止までの期間の勉強会は、中止となります。

山下敦神父様による2月11日(金)午後7時からの聖書講座は、中止となります。

◎田口神父様の容体について

ICUにて治療を続けていた田口神父様は、1月28日に一般病棟へ移られました。皆様のお祈りに感謝と共に、引き続き回復のためのお祈りをお願い致します。

月 日	主 日		
2月 6日	年間第5主日		
2月13日	年間第6主日		
2月20日	年間第7主日		
2月27日	年間第8主日		
3月 2日	灰の水曜日		
3月 6日	四旬節第1主日		